



水戸市マスコットキャラクターみとちゃん

市政記者各位

水戸市ニュースリリース



令和8年9月1日

水戸市

水戸城跡等が日本遺産「近世日本の教育遺産群—学ぶ心・礼節の本源—」の構成文化財として追加認定

本市は、教育遺産世界遺産登録推進協議会に加盟する栃木県足利市、岡山県備前市、大分県日田市とともに「近世日本の教育遺産群」の世界遺産登録に向けた事業を進めています。また、平成27(2015)年に「近世日本の教育遺産群—学ぶ心・礼節の本源—」として、文化庁の日本遺産第1号に認定され、情報発信や人材育成、普及啓発活動等にも取り組んでいます。

令和8年9月1日付けで、「水戸城跡」、「日新塾跡出土オランダ陶器」、「石河明善日記30冊附学制略1部、弘道館教育に関する意見書1部」の3件の文化財が、日本遺産「近世日本の教育遺産群—学ぶ心・礼節の本源—」の構成文化財に追加認定されました。

今後は、イベント等において日本遺産の構成文化財として積極的にPRしてまいります。

1 新たに構成文化財として認定された文化財

文化財の指定名称	所在地	日本遺産のストーリーとの関わり
水戸城跡	水戸市三の丸	水戸徳川家の居城となった平山城。水戸彰考館や弘道館など、学問・教育の中核施設が城内に開設された。
日新塾跡出土オランダ陶器	水戸市埋蔵文化財センター	日新塾の塾主が愛用したとみられるオランダ・マーストリヒト産の陶器碗。日新塾で洋学を摂取していたことを裏付ける物証。
石河明善日記30冊附学制略1部、弘道館教育に関する意見書1部	水戸市立博物館	弘道館の訓導・助教を務め、弘道館の本開館に向けて建議書を提出した石河明善の日記等。弘道館に関する記述が多く、幕末の政局や暮らしを知るうえで貴重な史料。

2 参考 「日本遺産 (Japan Heritage)」は、地域の歴史的魅力や特色を通じて、我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産」として文化庁が認定するものです。

本市では、旧弘道館、常磐公園（偕楽園）、旧水戸彰考館跡、大日本史、日新塾跡の5件が「近世日本の教育遺産群—学ぶ心・礼節の本源—」の構成文化財となっています。

《本件に関する問合せ先》

課 名 水戸市教育委員会事務局教育部歴史文化財課世界遺産推進室

担当者 川口、藤井

電話番号 029-306-8132

※文化庁への直接のお問い合わせはご遠慮ください。

追加認定となった構成文化財の写真



水戸城跡



日新塾跡出土オランダ陶器
※水戸市埋蔵文化財センターにて展示中



石河明善日記 30 冊附学制略 1
部、弘道館教育に関する意見書 1
部
※水戸市立博物館にて一部展示中